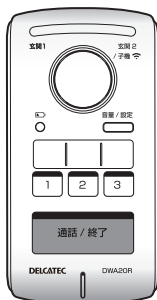


ワイヤレスインターホン 増設用 室内機(子) DWA20R

保証書付

DECT 準拠方式^(※1)

本製品は、報知、連絡用であり生命救済、
犯罪防止を目的とした機器ではありません。



はじめに | 室内機(親)への登録が必要です

登録作業が済んでいない室内機(子)は使用できません。

この取扱説明書では、増設用室内機(子)の室内機(親)への登録方法など、主に増設に関する取扱いを説明しています。室内機(親)の使用方法に関する詳細は、セット商品に付属している取扱説明をご覧ください。

セット商品につきましては、
・玄関子機セット:DWA20BD
または
・室内機(子)セット:DWA20BR
をお買い求めください。

(※1) DECT (Digital Enhanced Cordless Telecommunications) は ETSI (欧州電気通信標準化機構) の商標で、世界で広く普及している無線通信方式のひとつです。

このたびは、本製品をお買い上げいただきありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに保管してください。

本製品は、弊社の下記の製品とはシステムが異なりますので、増設・登録して使用することはできません。(互換性がありません)

- ・ HCシリーズ
(HC-3、HC-7、HC-8)
- ・ DWP10A1
- ・ DWP10A4
- ・ DWH10A1
- ・ DWP10A2
- ・ DWG10A1
- ・ DWM10A2

目次

目次	2
----------	---

はじめに

安全上のご注意	4
使用上のお願い	12
必ずお読みください	12
使用上のご注意	12
防水性能について	12
電波について	12
知っていただきたいこと	13
セット内容	14
各部の名称	15

準備 / 設置

充電	18
室内機(子)の充電が長持ちしなくなったとき	21
登録方法	22
室内機(親)との登録方法	22
登録の解除方法	25
取り付け方法	27
室内機の取り付け	28

使用方法

基本操作方法	30
個別で室内機間の呼び出し・通話(個別呼び出し)	31
個別の室内機への呼びかけ(個別呼びかけ)	33
すべての室内機への呼び出し(一斉呼び出し)	35
すべての室内機への話しかけ(一斉アナウンス)	37
すべての室内機への緊急呼び出し(緊急呼び出しモード)	40
割り込み着信(玄関子機を登録しているとき)	42
2回線同時通話	43
室内機(子)の機能設定	44
設定できる機能の一覧	44
着信音量の設定	45

通話音量の設定	45
室内機からの着信音の種類の設定	46
不在着信表示の設定解除	48
キーロックの設定(室内機(子)のみ)	51
玄関着信拒否の設定(室内機(子)のみ)	53
緊急呼び出しボタンの設定(室内機(子)のみ)	55

その他

故障と判断する前に	57
メンテナンス	59
お手入れおよびメンテナンス時のご注意	59
仕様	60
外形寸法図	61

安全上のご注意

お使いになる方や他の人々への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。本文中に使われている図記号の意味は、次のとおりです。



警告

この内容を見逃して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この内容を見逃して、誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示しています。



一般的な
注意事項



水ぬれ
禁止



接触禁止



指示を
守る



一般的な
禁止事項



分解禁止



ぬれ手
禁止



プラグ
を抜く



警告



指定の電源で使用する

- 必ず付属の専用ACアダプターを使用する。
他の機器のACアダプターなどを使用すると火災や感電の原因となります。
- 付属の専用ACアダプターはAC100V(50/60Hz) コンセントを使用する。
100V以外のコンセントに差し込むと、火災や感電、故障の原因となります。

警告



ケーブルに無理な力を加えたり、傷つけたりしない

- ケーブル類は、傷つける、加工する、無理に曲げる、ねじる、重いものを載せる、加熱する（熱器具に近づける）、引っばるなどをしない。

電源コードなどが傷んだときは（芯線の露出、断線など）、お買い上げの販売店、工事店、または弊社カスタマーセンターにご相談ください。そのまま使用すると火災や感電などの原因となります。

- 内部に金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだりしない。

火災や感電の原因となります。



結露した状態で使用しない

故障の原因となります。電源を切り、結露がとれたあとで、電源を供給し直してください。



ぬれた手でさわらない

感電の原因となります。



雷が鳴り出したら室内機の電源コードに触れない

感電の原因となります。



分解、改造、修理はしない

分解や改造は法律により禁止されていますので、絶対にしないでください。



異常があるときは、すぐに使用を中止する

次のような異常時は、ACアダプターをコンセントから抜き、お買い上げの販売店、工事店、または弊社カスタマーセンターに連絡してください。

- 煙がでる、変な臭いがする
 - 内部に水や昆虫、物が入った
 - 異音が鳴る
 - ACアダプターのコードや外部が破損、劣化している
- 火災、感電、けが、故障の原因となります。

警告

 **ACアダプターは、風通しの悪い場所で使用しない**
風通しを悪くすると、内部に熱がこもり、火災の原因となります。次のような使い方はしないでください。

- 押入れ、本箱・天井裏など、風通しの悪い狭いところに押し込む
- テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや布団の上に置いたりする
- 布や布団でおおったり、包んだりする

 **ACアダプターに水をかけたり、濡らしたりしない。**
また、ACアダプターの上に水や薬品の入った容器を置かない

水や薬品が中に入った場合、火災や感電の原因となります。また、ペットなどの動物がACアダプターの上に乗らないように注意してください。尿や糞が中に入った場合、火災や感電の原因となります。

 **ACアダプターはACコンセントから抜きやすい場所**
で使用する

ACアダプターが容易に取り外しできるようにしてください。

 **ACアダプターは、ACコンセントに根元までしっかりと差し込む**

すき間があるとゴミがたまり、火災の原因となります。また、ACアダプターは定期的にACコンセントから抜いて掃除してください。

 **万一、ACアダプターを落としたり、破損したりした場合、ACアダプターをACコンセントから抜いて販売店に連絡する**

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

 **ACアダプターをACコンセントから抜くときは、コードを引っ張らない**

コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。必ずACアダプター本体を持って抜いてください。



警告



たこ足配線など、コンセントや配線器具の定格を超える使い方をしない

発熱による火災の原因となります。



次の場所に設置しない

- 幼児やお子様の手の届く範囲に放置しない
誤ってストラップを首に巻きつけ、窒息を起こす原因となります。
- 人の通行の妨げになる場所
ACアダプターのコードを引っ掛け、けがや破損の原因となります。
- 直射日光の当たる場所、熱器具の付近や高温になる場所、湯煙や湿気、ホコリの多い所
火災や感電、故障の原因となります。
- 雨水などがかかる場所や浴室、シャワー室、プールなどの湿気の多い所
本製品は、屋内用です。
湿気や湯気による故障の原因となります。
- 強度の不足する場所、不安定な場所、振動の多い場所
落下し、けがの原因となります。



次のような場所や条件では、人体や医療機器などに影響を与える場合があるため、取り付けない

- 病院など特定の電波の使用を禁止された区域
- 医療用電気機器の近く(手術室、集中治療室、CCU等)
※CCU:冠状動脈疾患監視病室
- 自動ドア、火災報知機などの自動制御機器の近く
- 心臓ペースメーカーの装着部位から15cm以内の位置
誤動作による事故の原因となります。



乳幼児の手の届く場所に付属品などを置かない

乳幼児が付属品などを飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。



警告



距離が離れていたり、100m以内でも間に次のような遮蔽物が存在したりする場合、環境により電波が弱くなってブツブツ音や通話の途切れが起きる事があります

・障害物

- ・金属製のドアや雨戸（シャッター）
- ・複層ガラスの窓
- ・アルミ箔入りの断熱材が入った壁
- ・壁を何枚も隔てたところ
- ・コンクリートやトタン製の壁
- ・テレビ、携帯電話などの無線局が近くにある場合
- ・テレビ、ラジオ、ルーター、パソコン、FAX、送信機など電波を発生している家電製品やその他のOA機器が近くにある場所
- ・各機器をそれぞれ別の階や家屋などで使う場合
- ・夜間のシャッターの戸締り



定期的に点検する

取り付けが緩んだり、ネジが錆びたりすると、落下による破損、けがの原因となります。



スピーカーを耳にあてない

スピーカーから急に大きな音が出た場合、難聴等の原因となります。



お手入れの注意

ベンジンやアルコール、シンナーなどは使わず、乾いた布で乾拭きしてください。溶けたり、変形や変色の原因となります。



警告

充電電池の取り扱いについて

本製品は内蔵ニッケル水素電池（以下充電電池、またはニッケル水素電池という）を使用しています。



水、海水、ジュースなどで濡らさない

電池を発熱させる原因になるおそれがあります。また、接続部が錆びることがあります。



強い衝撃を与えたり、投げつけたりしない

充電電池に組み込まれている保護機構が壊れ、異常な電流、電圧で充電電池がショートする可能性があり、発熱、破裂、発火の原因となります。



釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけない

充電電池が変形してショートし、発熱、破裂、発火の原因となります。



充電には、必ず付属の専用ACアダプターを使用し、それ以外の方法では充電しない

電池は当社指定の充電器を使用するまたは、当社指定の充電条件を守ってください。その他の条件で充電しますと、過大電流で充電されたり、充電制御ができなかったりして、電池を漏液、発熱、破裂させる原因となります。



充電電池を分解したり、改造しない

電池には危険防止のためのガス排出弁が組み込まれています。これらを損なうと、過大電流で充電されたり、充電制御ができなかったり、過大電流が放電されたりして、電池を漏液、発熱、破裂させる原因となります。



直射日光の当たる場所、火のそばなど熱源の近くや炎天下に停めた車中など、高い温度や高い湿度となる場所で使用しない

充電電池を漏液させる原因となります。



乳幼児の手の届かないところに置く

電池は乳幼児の手の届かないところに保管してください。万一電池を飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。



警告

-  **本製品から液体が漏液して目に入ったときは、すぐに水で洗い、医師の診察を受ける**
充電池の電解液が漏液して液が目に入ったときは、こすらずに水道水などのきれいな水で十分洗った後、ただちに医師の治療を受けてください。放置すると液により、目に障害を与える原因となります。
-  **電子レンジや高圧容器に入れない**
急に加熱されたり、密閉状態が壊れたりして発熱、破裂、発火の原因となります。
-  **お買い上げ後初めて使用する際または使用中に、充電池の異臭、発熱、異常などがあるときは使用しない**
使用中、充電中、保管時に、異臭や発熱、変色、変形など、今までと異なることに気がついたときは、絶対に使用しないでください。そのまま使用を続けると、充電池が発熱、破裂、発火する原因となります。
-  **充電中、可燃物を上に載せたり、覆ったりしない**
充電池が発熱、破裂、発火する原因となります。
-  **ACアダプターを使用して、1日経過しても本体の充電ランプが赤色点滅している場合は、ただちに充電を中止する**
充電池が発熱、破裂、発火する原因になるおそれがあります。
-  **本体を火の中に投入したり、加熱しない**
充電池の絶縁物が溶けたり、保護機構を損傷するだけでなく、発熱、破裂、発火の原因となります。

注意

-  **静電気が発生する場所では使用しない**
充電池には、危険防止のため保護機構が組み込まれています。静電気が保護機構に損傷を与え、発熱、破裂、発火の原因となります。
-  **充電池パックのコードを電池蓋などで挟み込まない**
コードを破損すると充電池の発熱・破裂により、やけどなどのおそれがあります。
-  **指定温度範囲以外での充電はしない**
充電池の充電温度範囲は-10℃～+40℃です。この温度範囲以外での充電は、漏液、充電池を発熱、破損させる原因となります。

使用上のお願い

必ずお読みください

本製品を設置する前に、必ず動作確認を行ってください。

- ・本書に記載されている以外の取り付けを行ったことに起因する故障、および事故について当社は一切責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

重要

設置場所の環境によっては、他の機器の電波が妨害となったり、壁などの影響によって電波が減衰するなど、正常に動作しないことがあります。電波強度が十分かどうかは、室内機(子)のランプで、確認することができます。

使用上のご注意

- ・本製品の使用は、日本国内のみです。海外では使用できません。
- ・本製品は屋内専用です。

防水性能について

- ・本製品には、JIS保護等級IPX4 (防沫型) 相当の防水性能がありますが、完全防水ではありません。DCジャックカバーを閉じている場合は多少の水に濡れても使用できますが、水没した場合は故障する恐れがあります。

電波について

本製品は、1.9GHz帯を使用する時分割多元接続方式広帯域デジタルコードレス電話の無線局の無線設備です。

1.9-D

(一般社団法人 電波産業会 標準規格「ARIB STD-T101」準拠)

- ・本製品はデジタル信号を利用しており、通信傍受されにくい商品ですが、電波を扱うことにより、第三者が故意に傍受することも考えられるため、あらかじめご了承ください。

本製品の使用周波数に関するご注意

- 本製品の使用周波数帯では、PHSの無線局のほか、異なる種類のデジタルコードレス電話の無線局が運用されています。
- 本製品は同一周波数帯を使用する他の無線局と電波干渉が発生しないように考慮されていますが、万一、本製品から他の無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかにご購入店、当社カスタマーセンターにご連絡いただき、混信回避のための処置等（例えばパーティションの設置等）についてご相談ください。
- 無線LANとは周波数が異なるので混信することはありません。
- 本製品をCSデジタル放送を受信している環境で使用する場合、CSデジタル放送のアンテナ伝送路に本製品の電波が混入（テレビ映像にモザイク状のノイズが発生）する可能性があります。この場合、シールド性の高い衛星放送対応の分波器、接続ケーブルをお使いいただくことで影響を軽減できる場合があります。

知っていただきたいこと

- **双方向通話は1対1で行います。（一斉アナウンスを除く）**
（2台をこえる同時通話はできません）
- 本製品を追加した場合、室内機（子）－室内機（子）間を含む**すべての室内機間で通話が可能です。**
- 室内機からの呼び出しは、**室内機の一斉呼び出しと個別呼び出し**ができます。
- 室内機の着信音は3種類ありますので、それぞれに違う着信音を割り当てることで、いずれの室内機からの呼び出しかが分ります。
- 各機器を**1m**以内に近づけるとハウリングが発生することがあります。その場合、離して使用してください。
- すべての通話は室内機（親）を中継して行ないますので、室内機（親）の電源が**OFF**になったり、室内機（親）の電波がさえぎられると、通話ができませんので、ご注意ください。

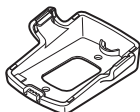
セット内容

本製品には次のものが入っています。すべてが揃っているかを確認してください。

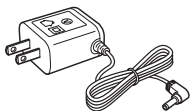
重要 必ず付属の専用ACアダプターを使用してください。



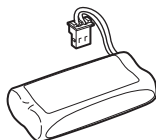
室内機(子):1台



壁掛けスタンド:1台



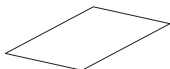
専用ACアダプター:1個
コード長約1.8m
型番:EP-DG32



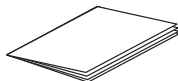
専用充電電池パック:1個
型番:RBDWA20



壁取付用ネジ
(M4×16mm):
2本



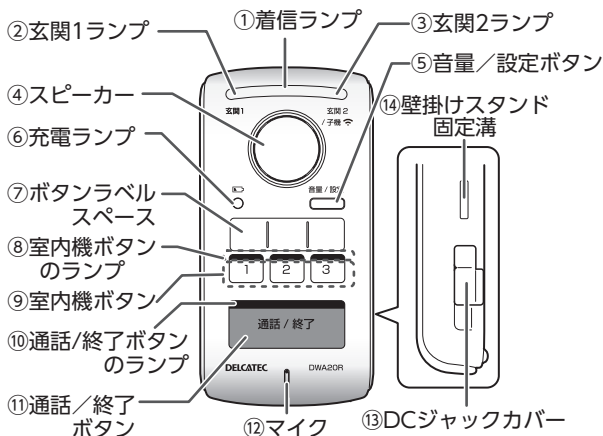
室内機ボタンラベル
シート:1枚
(耐水性ではありません)



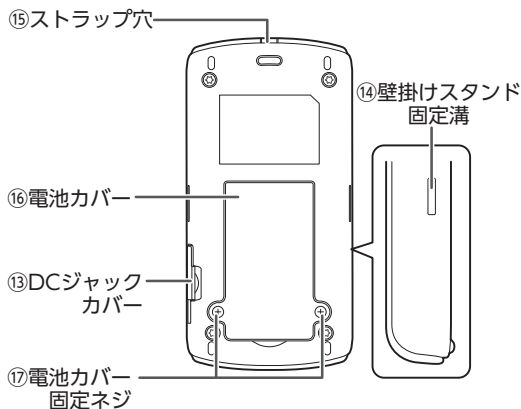
取扱説明書:1冊

各部の名称

● 正面



● 背面



①着信ランプ

着信があると青色に点滅します。

②玄関1ランプ

玄関子機1から着信があるときは、以下のようにランプが点滅または点灯します。

- **緑色点滅**
玄関子機1からの着信
- **緑色点灯**
玄関子機1との通話中

③玄関2ランプ

玄関子機2から着信があるとき、または、室内機(親)との間の電波状態が悪いときは、以下のようにランプが点滅または点灯します。

- **緑色点滅**
玄関子機2からの着信
- **緑色点灯**
玄関子機2との通話中
- **赤色点滅**
室内機(親)からの電波が届いていない

④スピーカー

着信音、通話音声を出力します。

⑤音量／設定ボタン

音量を設定したり、機能設定モードに入るときに使用します。

⑥充電ランプ

充電状態を表示します。

緑点灯	充電完了
緑点滅	充電中
赤点滅(遅い)	残量 11～20%
赤点滅(速い)	残量 10%以下

⑦ボタンラベルスペース

付属のボタンラベルシートから使用するラベルを貼って、室内機ボタンの判別します。

⑧室内機ボタンのランプ[1]～[3]

他の室内機から着信があるとき、以下のようにランプが点滅または点灯します。

- **緑色点滅**
 - 他の室内機を呼び出し中
 - 他の室内機から着信中
 - 他の室内機から一斉アナウンスの着信中
- **緑色点灯**
通話中
- **赤色点滅**
 - 不在着信あり(不在着信表示をオンのとき)
 - 緊急呼び出しとして他の室内機から着信中
- **赤色点灯**
玄関子機1または玄関子機2の電池残量低下(室内機(親)でサイレントモードをオンにしているとき)

⑨室内機ボタン[1]～[3]

他の室内機を呼び出すときに使用します。

⑩通話／終了ボタンのランプ

- **緑色点滅**
一斉呼び出し中
- **緑色点灯**
一斉アナウンスの送話中
- **赤色点滅**
緊急呼び出し中 (緊急呼び出しボタンを設定している場合のみ)

⑪通話／終了ボタン

一斉呼び出しのとき、一斉アナウンスのとき、応答するときに使用します。

⑫マイク

この部分に向かって話します。

⑬DCジャックカバー

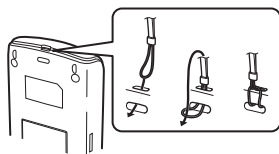
付属の専用ACアダプターのプラグを差し込むときは、このカバーを開けて、プラグをジャックの奥までしっかりと差し込みます。

⑭壁掛けスタンド固定溝

室内機に壁掛けスタンドを取り付ける際、この溝にしっかりと差し込みます。

⑮ストラップ穴

ストラップを取り付けるときは、下図のように取り付けます。

**⑯電池カバー**

カバーをはずして、充電電池をセットします。

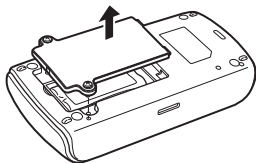
⑰電池カバー固定ネジ

電池カバーをネジでしっかりと固定します。

充電

● 充電電池の取付・交換方法

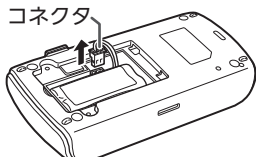
- 1** 電池カバーのネジを緩めて、電池カバーを取り外します。



- 2** コネクタを取り外して、充電電池を取り出します。(交換時のみ)



充電電池を取り外すときは、充電電池のコネクタを外してください。

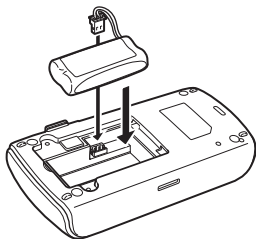


※初めて充電電池を取り付けるときは、古い充電電池を取り出す必要はありません。

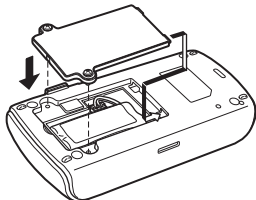
- 3** 新しい充電電池を入れ、プラグを差し込みます。



プラグの向きに注意してください。固いときは、無理に差し込まずに、プラグの向きを確認してください。

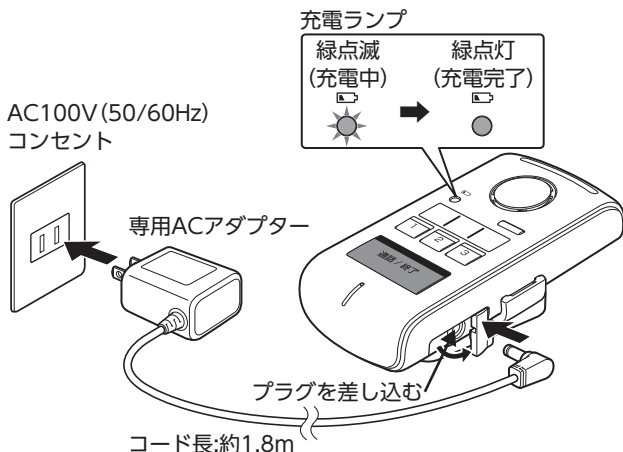


- 4** 電池カバーを取り付け、ネジで固定します。



5 ACアダプターを差し込み、充電します。

付属の専用ACアダプターを本製品のDCジャックの奥までしっかり差し込んでください。充電中は充電ランプが緑色で点滅します。充電が完了すると、緑色の点灯に変わります。



⚠ 注意

必ず、付属の専用 AC アダプターを使用してください。他の機器の AC アダプターを接続すると、故障や感電等の原因となります。

充電の目安: 約10時間 (満充電まで)

使用環境や電池残量によっては早く充電完了になる場合があります。



ACアダプターを差し込んでも、充電ランプがすぐに緑色点滅を開始しない場合があります。緑色点滅しない場合、一度ACアダプターを抜いてから差し込んでください。10分以上たっても緑色点滅しない場合は、当社カスタマーセンターまでご相談ください。

● 室内機(子)の充電残量が少なくなったとき

室内機(子)

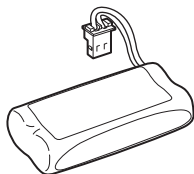


室内機(子)の充電残量が少なくなったときは、充電ランプは、赤色で速く点滅します。
(➡15ページ)

室内機(子)の充電が長持ちしなくなったとき

本製品の専用充電電池(ニッケル水素電池)は消耗品です。

十分に充電しても、すぐに充電ランプが赤色点滅になるときは、新しい充電電池と交換してください。



専用充電電池

重要

- 必ず指定の充電電池を使用してください。
- 充電電池のコードを無理に引っ張らないでください。
プラグをむやみに抜き差ししないでください。
線材やコネクタが破損するおそれがあります。

充電式電池のリサイクルについてのお願い

本製品は、ニッケル水素充電電池を内蔵しています。ニッケル水素充電電池はリサイクルすることができる大切な資源ですので、リサイクルにご協力をお願いいたします。不要になった充電電池は下記の注意事項を守ってリサイクル協力店の充電式電池リサイクル BOX に入れてください。

- 充電電池のビニールカバー（被覆・チューブなど）をはがさないでください。
- 充電電池のコードやプラグを切断しないでください。
- 充電電池を分解しないでください。
- 充電電池の金属端子が露出した場合は、ビニールテープなどを貼って絶縁してください。
- リサイクル協力店は、一般社団法人 JBRC のホームページでご確認ください。
<https://www.jbrc.com/>



登録方法

室内機(親)との登録方法

このようなときに必要です。

- 本製品を初めて使用するとき
- 初期化後に再登録するとき

室内機(親)と登録する場合は、最初に以下の手順で登録を行ってください。

重要

- 登録作業が済んでいない室内機(子)は使用できません。
- 1つの室内機(親)に最大3台の室内機(子)が登録できます。(4台以上登録しようすると、エラー音が鳴って登録できません。)
- 複数の室内機(子)を登録する場合でも、登録作業は1台ずつ行ってください。

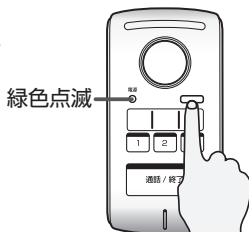


本製品は、満充電された状態で行ってください。

1 室内機(親)と登録する室内機(子)の電源を入れます。

2 室内機(親)の「音量/設定ボタン」を3秒以上押します。

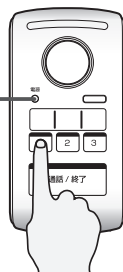
確認音が鳴り、電源ランプが緑色に点滅します。



3 5秒以内に室内機(親)の室内機ボタン[1]を押します。

確認音が鳴り、電源ランプが赤色と緑色に交互に点灯します。(登録するモードになります。)

赤色と緑色が交互に点灯



5秒以内にボタンを押さなかった場合、ピピッと音が鳴り設定状態が解除されて待機状態に戻ります。
その場合は手順1からやり直してください。
以降の手順も同様に5秒以内にボタンを押さなかった場合、待機状態に戻ります。



2台目、3台目の増設用室内機を登録するときも、室内機ボタン[1]を押してください。

4 室内機(子)の「音量/設定」ボタンを3秒以上押します。

確認音が鳴り、充電ランプが緑色に点滅します。

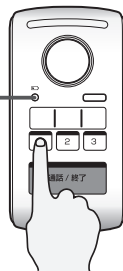
緑色点滅



5 5秒以内に室内機(子)の室内機ボタン[1]を押します。

確認音が鳴り、充電ランプが赤色と緑色に交互に点灯します。

赤色と緑色に交互に点灯



2台目、3台目の増設用室内機として登録するときも、室内機ボタン[1]を押してください。

5秒以内にボタンを押さなかった場合、ピピッと音が鳴り設定が解除されて待機状態に戻ります。

その場合は手順1からやり直してください。

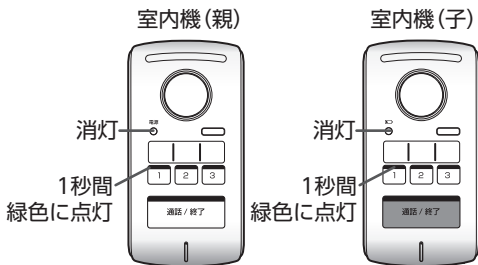
以降の手順も同様に5秒以内にボタンを押さなかった場合、待機状態に戻ります。

6 登録が完了すると、室内機(親)と室内機(子)の確認音が鳴り、電源ランプ、充電ランプがそれぞれ消灯して、登録した室内機(子)と室内機(親)の登録番号が1秒間緑色に点灯します。

ここで点灯した室内機ボタンの番号が、室内機(子)の登録番号になります。



登録を途中で止めるには、「音量/設定」ボタンを押します。



重要

1分以内に登録が完了しないときは、エラー音が鳴り、室内機(親)と室内機(子)が待機状態になります。



室内機(子)は登録時に番号が割り当てられます。

他の室内機(子)との通話時には、室内機(子)に割り当てられた室内機ボタンのランプや室内機ボタンを使用します。なお、室内機(親)との通話時には、自分の室内機(子)に割り当てられた室内機ボタンのランプや室内機ボタンを使用します。

例:室内機(子)2から呼び出す場合

室内機(子)1の呼び出し:室内機ボタン[1]を使用

室内機(親)の呼び出し:室内機ボタン[2]を使用

室内機(子)3の呼び出し:室内機ボタン[3]を使用

登録の解除方法

このようなときに必要です。

- ・室内機(親)にすでに室内機(子)が最大登録数の3台登録されているとき
- ・使用しない室内機(子)の登録を削除するとき
- ・本製品を別の室内機(親)に登録するとき
- ・室内機(子)を交換するとき
- ・室内機(親)が複数台あり、各グループの組み合わせを変更するとき

登録情報を解除するには、以下の手順で操作を行ってください。

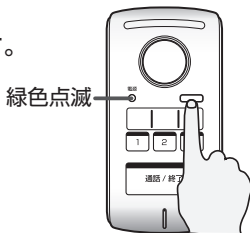
重要

- ・室内機(親)と室内機(子)の操作は同じです。
- ・室内機(親)で操作する場合、すでに登録されているすべての玄関子機と室内機(子)の情報が削除されます。(特定の玄関子機や室内機(子)を選んで削除することはできません。)

1 室内機(親)との登録を解除する室内機の電源を入れます。

2 室内機の「音量/設定」ボタンを確認音が鳴るまで押します。

確認音が鳴り、充電ランプが緑色に点滅します。



3 5秒以内に室内機(子)の室内機ボタン[3]を押します。

確認音が鳴り、電源ランプが1秒間緑色で点灯し、登録情報が削除されます。

5秒以内にボタンを押さなかった場合、ピピッと音が鳴り設定状態が解除されて待機状態に戻ります。

その場合は手順2からやり直してください。



取り付け方法

⚠注意

- 金網、鉄筋および鉄骨など埋め込まれている壁面・柱や金属製の扉には取り付けないでください。
- 通信距離100mは、室内機(親)と各玄関子機との間の見通し距離になります。室内機(親)の設置場所を工夫することで、室内機(子)および玄関子機は最大200mまで通信が可能になります。



ただし、最大距離ですので取り付ける前に必ず、その場所ですべての室内機と玄関子機および室内機間で呼び出し・通話ができることを確認してください。取付環境により通話可能距離が短くなる場合があります。

- 既設のインターホンやチャイムなどから交換するときは、AC100Vの電源線が配線されている場合があるので、ビニールテープを巻くなど配線を絶縁処理が必要になります。既設のインターホンやチャイムなどから交換するときは、販売店または工事店へご相談ください。

室内機の取り付け

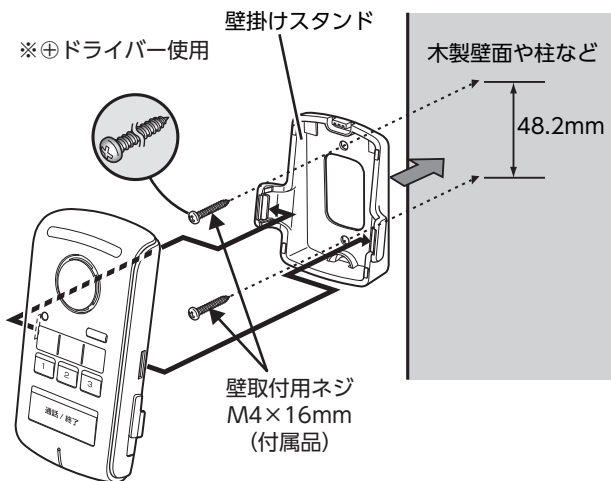
● モルタル、木製の壁面・柱に取り付ける場合

付属の壁掛けスタンドをモルタル、木製の壁面・柱に取り付け、そこに室内機をセットします。

重要

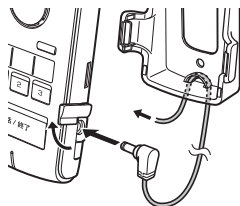
取付作業をする前に、実際に室内機（親）と通話ができることを確認してください。

一度取り付けると、壁面等に穴が開きますので、ご注意ください。



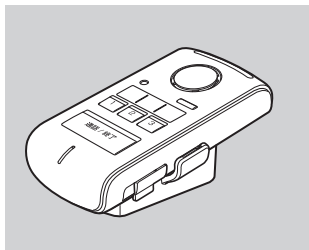
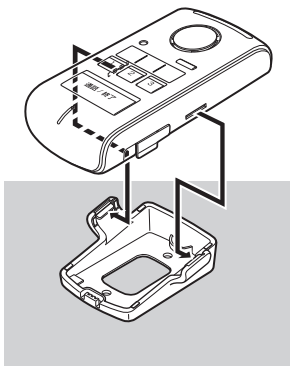
壁掛けスタンドは上図の向きで取り付けてください。

電源ケーブルはケーブル通し穴に通し、ケーブルの引き出し量を調整してから、壁掛けスタンドを取り付けてください。



● 卓上への据え置き

付属の壁掛けスタンドに室内機をセットします。

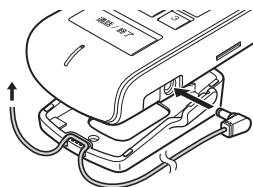


机の上など



壁掛けスタンドは上図の向きで取り付けてください。

電源ケーブルはケーブル通し穴に通します。



● 壁掛けスタンドから取り外し

室内機を壁掛けスタンドから取り外しにくいときは、ストッパー部にコインなどを差し込み、ひねって取り外します。



基本操作方法

重要 室内機間でいろいろな通話できます。

下記機能を使用することができます。

- **個別呼び出し** (室内機 (子) が2台以上登録されているとき)
指定した室内機を呼び出すことができます。
- **個別呼びかけ**
着信側では「通話/終了」ボタンを押さずに返答ができます。
- **一斉呼び出し** (室内機 (子) が2台以上登録されているとき)
登録されているすべての室内機を呼び出すことができます。
- **一斉アナウンス**
すべての室内機に一斉に呼びかけることができます。
- **緊急呼び出しモード**
緊急時にすべての室内機をアラーム音で呼び出すことができます。
- **割り込み着信** (玄関子機を登録しているとき)
通話中に玄関子機からの呼び出しにも対応できます。
 - ・玄関子機からの呼び出し
玄関子機からの着信、通話ができます。
- **2回線同時通話** (玄関子機または室内機が4台以上登録されているとき)
最大2回線で、同時通話ができます。

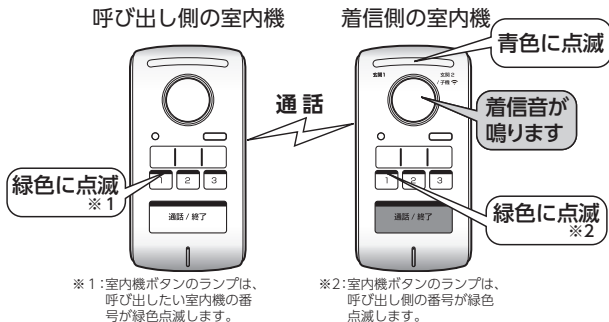
個別で室内機間の呼び出し・通話(個別呼び出し)

指定した室内機間で通話できます。

- 1 室内機の室内機ボタン[1]～[3]のいずれかを押します。**
押した室内機ボタンに対応する室内機ボタンのランプが緑色で点滅します。
- 2 着信側の室内機から着信音が鳴り、着信ランプが青色、室内機ボタンのランプが緑色に点滅します。**



室内機(親)を呼び出すときには、室内機(子)に割り当てられた登録番号の室内機ボタンを押します。



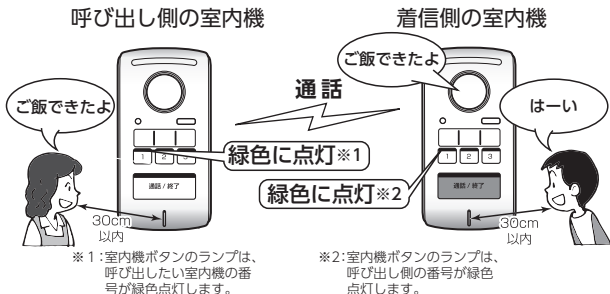
室内機(子)に室内機(親)から着信したときには、室内機(子)に割り当てられた登録番号の室内機ボタンのランプが緑色に点滅します。

3 室内機ボタンのランプの点滅中に、「通話/終了」ボタンまたは点滅している室内機ボタンを押します。

着信音が鳴り止め、室内機ボタンのランプが点滅から点灯に変わり、通話モードになります。



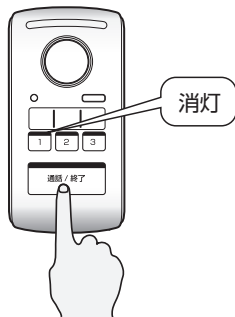
室内機(子)が室内機(親)から呼び出されたときは、室内機(子)に割り当てられた室内機ボタンのランプが点滅します。



4 通話が終了したら、呼び出し側または着信側の室内機ボタンまたは「通話/終了」ボタンを押します。

通話が終了し、双方の室内機が待機状態になり室内機ボタンのランプが消えます。「通話/終了」ボタンまたは点灯している室内機ボタンを押すまで通話モードが続きます。

双方の室内機



個別の室内機への呼びかけ(個別呼びかけ)

着信側の人が操作する必要がなく、通話することができる便利な機能です。

重要 玄関子機に呼びかけることはできません。

- 1 個別呼びかけをする室内機ボタンを3秒以上押します。
「通話/終了」ボタンのランプが緑色に点滅します。
- 2 短い着信音が鳴り、着信側の室内機と通話ができます。

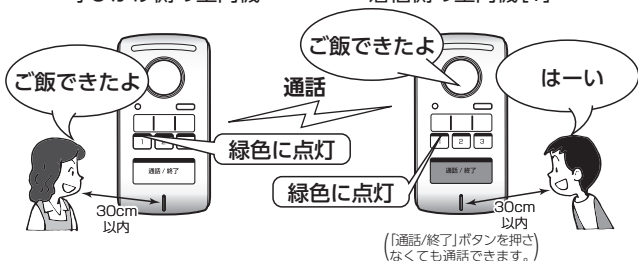
呼びかけ側の室内機

着信側の室内機[1]



呼びかけ側の室内機

着信側の室内機[1]

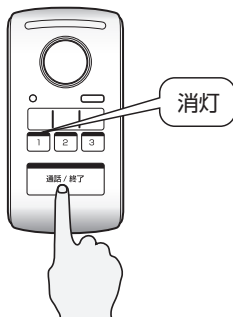


- 3** 通話を終了する場合は、「通話/終了」ボタンを押します。
通話が終了し、双方の室内機が待機状態になり室内機ボタンの
ランプが消えます。

重要

必ず「通話/終了」ボタンを押して、通話を終了してください。

呼びかけ側の室内機



すべての室内機への呼び出し(一斉呼び出し)

すべての室内機を一斉に呼び出すことができます。

重要

一斉呼び出しでは、最初に応答した室内機と1対1の通話ができます。(玄関子機を呼び出すことはできません。)

- 1 呼び出し側の室内機の「通話/終了」ボタンを押します。
呼び出し音が鳴り、「通話/終了」ボタンのランプが緑色に点滅します。
- 2 着信側の室内機から着信音が鳴り、着信ランプが青色、室内機ボタンのランプが緑色に点滅します。

着信側の室内機【1】

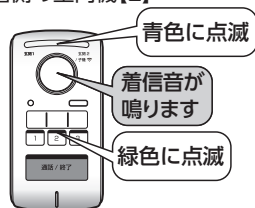


呼び出し側の室内機



通話

着信側の室内機【2】

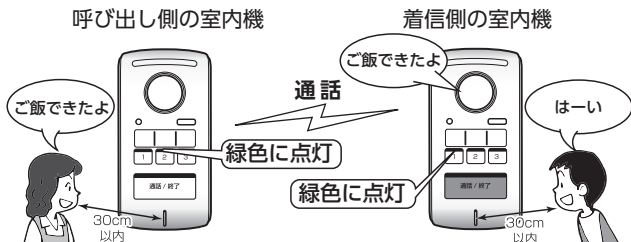


登録されている室内機に割り当てられている番号の室内機ボタンのランプが、緑色で点滅します。

3 着信ランプの点滅中に、「通話/終了」ボタンを押します。
着信音が鳴り止み、着信ランプが消灯します。室内機ボタンのランプが点灯に変わります。室内機と通話することができます。

4 通話を終了する場合は、室内機の「通話/終了」ボタンを押します。(室内機ボタンでも終了できます。)
通話が終了し、すべての室内機が待機状態になり室内機ボタンのランプが消えます。

重要 必ず「通話/終了」ボタンを押して、通話を終了してください。



すべての室内機への話しかけ(一斉アナウンス)

すべての室内機に一斉に話しかける(一斉アナウンス)ことができます。

重要

- 一斉アナウンスでは、着信側の室内機から、応答はできません。
- 玄関子機に話しかけることはできません。

1 「通話/終了」ボタンを3秒以上押します。

呼び出し音が鳴り、「通話/終了」ボタンのランプが緑色に点滅します。

話しかけ側の室内機

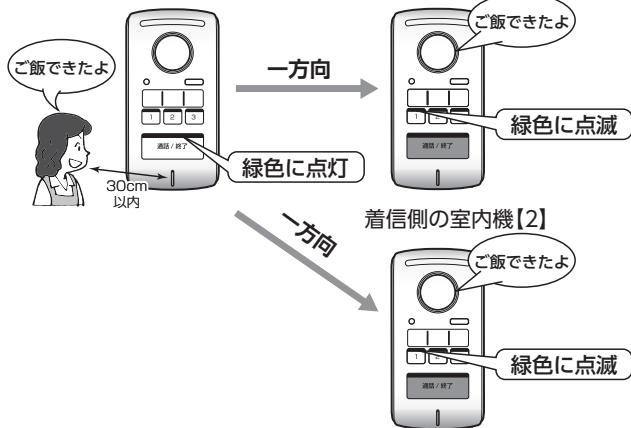


2 着信側の室内機から1回のみ着信音が鳴り、一斉アナウンスを開始します。

着信側の室内機の「通話/終了」ボタンを押す必要はありません。

話しかけ側の室内機

着信側の室内機【1】



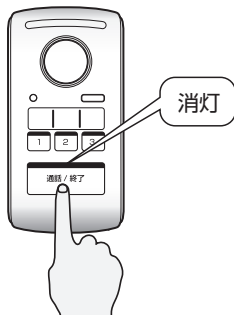
3 一斉アナウンスを終了するときは、呼び出し側の室内機の「通話/終了」ボタンを押します。

すべての室内機が待機状態になり室内機ボタンのランプが消えます。

重要

呼び出し側の室内機で「通話/終了」ボタンを押して、通話を終了してください。(着信側の室内機で「通話/終了」ボタンを押した場合は、その室内機への話しかけだけが終了します。)

双方の室内機



すべての室内機への緊急呼び出し(緊急呼び出しモード)

緊急呼び出しモードを設定した室内機(子)は、他の室内機を緊急に呼び出して通話することができます。

重要

- ・緊急呼び出しモードをオンにした室内機(子)では、「通話/終了」ボタンが緊急呼び出しボタンになります。
- ・緊急呼び出しモードをオンにした室内機(子)から緊急呼び出しモード以外の通話を開始することはできません。

1 緊急呼び出しボタンを設定した室内機(子)で、「通話/終了」ボタンを押します。

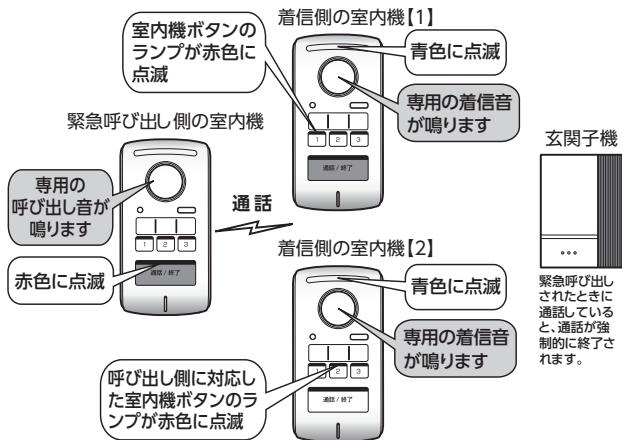
専用の呼び出し音が鳴り、「通話/終了」ボタンのランプと呼び出し側に対応した室内機ランプが赤色に点滅します。

2 すべての室内機から専用の着信音が鳴り、着信ランプが青色、室内機ボタンのランプが赤色に点滅します。

このとき、玄関子機や別の室内機と通話中の場合は、通話が強制的に終了されます。



緊急呼び出しボタンを設定していない室内機でも、緊急呼び出しは着信します。



玄関子機



緊急呼び出しされたときに通話しているとき、通話が強制的に終了されます。

- 3 着信ランプの点滅中に、「通話/終了」ボタンを押します。**
着信音が鳴り止み、着信ランプが消灯します。
通話相手を示す室内機ボタンのランプが緑色点灯に変わり、室内機と通話することができます。
- 4 通話が終了したら、緊急呼び出し側または着信側の室内機ボタンまたは「通話/終了」ボタンを押します。**
通話が終了し、双方の室内機が待機状態になり室内機ボタンのランプが消えます。
「通話/終了」ボタンまたは点灯している室内機ボタンを押すまで通話モードが続きます。

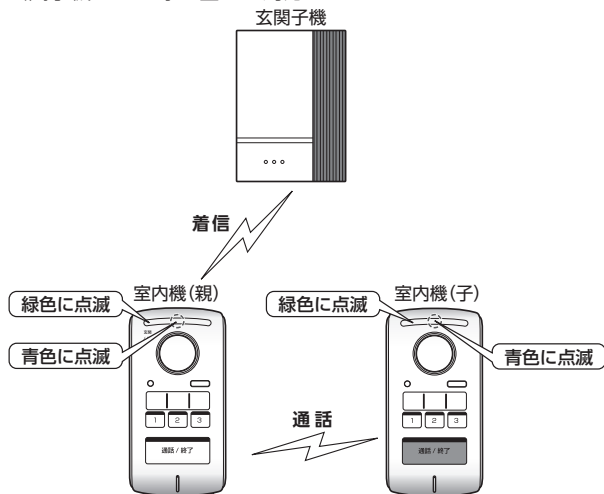
割り込み着信(玄関子機を登録しているとき)

● 室内機の通話中に玄関子機から呼び出しがあった場合

「通話/終了」ボタンを押すと通話が終了し、玄関子機との通話が開始されます。

1 室内機間通話中、「通話/終了」ボタンを押します。

玄関子機からの呼び出しに対応することができます。



重要

- 室内機間で通話中に玄関子機の呼び出しボタンが押されると、割り込み音が鳴ります。そのときに室内機で「通話/終了」ボタンを押すと、室内機との通話が終了し、玄関子機との通話に切り替わります。
- 「通話/終了」ボタンを押さなければ、現在の通話が継続します。

2回線同時通話

玄関子機または室内機が計4台以上設置されていると、2回線で別々に通話できます。



- 2台の機器が通話中(1回線目)に、通話していない室内機は通話していない別の室内機を呼び出して通話することができます。
(通話中の室内機は呼び出されません。)
- 2台の機器が通話中(1回線目)に、通話していない室内機は通話していない玄関子機からの呼び出しに応答して通話することができます。
(通話中の室内機で応答したい場合は➡42ページ)

室内機(子)の機能設定

設定できる機能の一覧

機能		参照
着信音量	着信音量を「最大」「大」「中」「小」「最小」「ミュート」の6段階で設定します。	➡45ページ
通話音量	通話音量を「大」「中」「小」「最小」の4段階で設定します。	➡45ページ
着信音の種類	室内機からの着信音を3つの中から設定します。	➡46ページ
不在着信表示	不在時に着信があった時にLEDで表示するかどうかを設定します。	➡48ページ
キーロック	誤作動防止のため、「通話/終了」ボタンおよび「音量/設定」の長押し以外の操作をロックします。	➡51ページ
玄関着信拒否	玄関子機からの着信を拒否に設定します。	➡53ページ
緊急呼び出しモード	「通話/終了」ボタンを緊急呼び出しボタンに設定することで、ボタンを押すだけで緊急度を伝えられるようにします。	➡55ページ

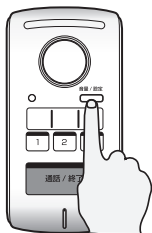
着信音量の設定

着信音量を「最大」「大」「中」「小」「最小」「ミュート」の6段階で設定します。

1 待機状態で、「音量/設定」ボタンを押します。

押すごとに「ミュート」「最小」「小」「中」「大」「最大」と選択した着信音量が鳴ります。（「ミュート」に設定すると着信音は鳴りません。）

出荷時設定：「中」



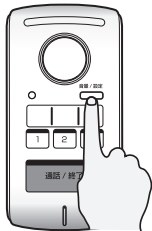
通話音量の設定

通話音量を「大」「中」「小」「最小」の4段階で設定します。

1 通話中に、「音量/設定」ボタンを押します。

押すごとに「最小」「小」「中」「大」（大の時にボタンを押すと、最小に戻ります）と選択した通話音量になります。

出荷時設定：「中」



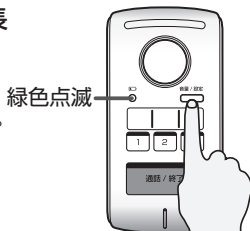
室内機からの着信音の種類の設定

室内機ごとに着信音を3つの中から設定します。
(玄関子機からの着信音は変更できません)

1 「音量/設定」ボタンを3秒間長押しします。

確認音が鳴り、機能設定モードになります。

機能設定モードでは、充電ランプが緑色に点滅します。



2 5秒以内に「通話/終了」ボタンを押します。

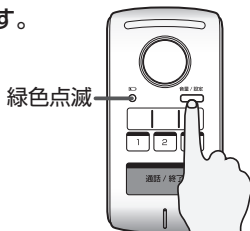
5秒以内にボタンを押さなかった場合、ピピッと音が鳴り設定状態が解除されて待機状態に戻ります。

その場合は手順1からやり直してください。

以降の手順も同様に5秒以内にボタンを押さなかった場合、待機状態に戻ります。



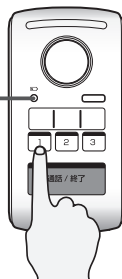
3 「音量/設定」ボタンを押します。



4 設定したい室内機の室内機ボタンを押します。

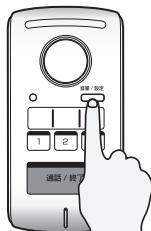
押すごとに選択した着信音が鳴ります。

緑色点滅



5 「音量/設定」ボタンを押します。

確認音が鳴り、待機状態に戻ります。



重要

玄関子機からの着信音は変更できません。

不在着信表示の設定解除

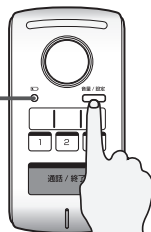
他の室内機から不在時に着信があった時にランプで表示するかどうかを設定します。出荷時は表示する設定になっています。
不在着信表示をやめるには次の手順で設定します。

1 「音量/設定」ボタンを3秒間長押しします。

確認音が鳴り、機能設定モードになります。

機能設定モードでは、充電ランプが緑色に点滅します。

緑色点滅



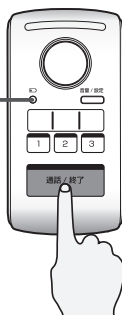
2 5秒以内に「通話/終了」ボタンを押します。

5秒以内にボタンを押さなかった場合、ピピッと音が鳴り設定状態が解除されて待機状態に戻ります。

その場合は手順1からやり直してください。

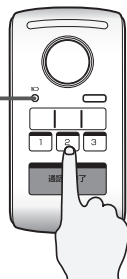
以降の手順も同様に5秒以内にボタンを押さなかった場合、待機状態に戻ります。

緑色点滅



3 室内機ボタン[2]を押します。
充電ランプが緑色で点灯します。

緑色点灯



4 「通話/終了」ボタンを押します。
不在着信表示がオフになり、充電ランプが赤色で点灯します。

赤色点灯



「通話/終了」ボタンを押すと不在着信表示のオンとオフを切り替えることができます。
緑色点灯: 不在着信 (オン)
赤色点灯: 不在着信 (オフ)

5 「音量/設定」ボタンを押します。
確認音が鳴り、待機状態に戻ります。





不在着信表示をやめた後に再び不在着信を表示するときは、手順1～5と同じ手順ですが、下記の手順が異なります。

手順3 充電ランプが赤色に点灯します。

手順4 不在着信がオンになり充電ランプが緑色に点灯します。

不在着信情報の設定時の動作

不在着信があったときは、室内機ボタンのランプが赤色点滅します。

不在着信情報の消去方法

下記のいずれかのときに、不在着信の表示が消えます。

- ・不在着信の相手呼び出す
- ・不在着信の相手と通話する
- ・不在着信から1時間が経過する

キーロックの設定(室内機(子)のみ)

誤作動防止のためキーロックを設定すると、「通話／終了」ボタンまたは、音量/設定ボタンの長押し以外の操作は警告音が鳴り、動作しません。

キーロックを設定するには次の手順で設定します。

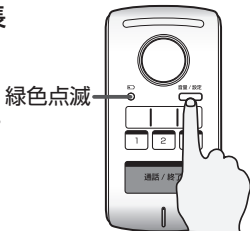


室内機(子)のみの設定です。室内機(親)で同じ操作をすると、サイレントモードの設定/解除となるのでご注意ください。

1 「音量/設定」ボタンを3秒間長押しします。

確認音が鳴り、機能設定モードになります。

機能設定モードでは、充電ランプが緑色に点滅します。



2 5秒以内に室内機ボタン[2]を押します。

充電ランプが赤色で点灯します。

5秒以内にボタンを押さなかった場合、ピピッと音が鳴り設定状態が解除されて待機状態に戻ります。

その場合は手順1からやり直してください。

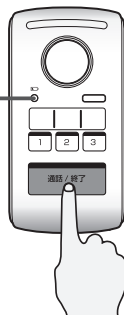
以降の手順も同様に5秒以内にボタンを押さなかった場合、待機状態に戻ります。



3 「通話/終了」ボタンを押します。

キーロックがオンになり、充電ランプが緑色で点灯します。

緑色点灯



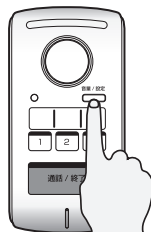
「通話/終了」ボタンを押すと
キーロックのオンとオフを切り替えることができます。

緑色点灯: キーロック (オン)

赤色点灯: キーロック (オフ)

4 「音量/設定」ボタンを押します。

確認音が鳴り、待機状態に戻ります。



キーロックを解除する

解除方法は、手順 1～4 と同じ手順ですが、下記の手順が異なります。

手順2 充電ランプが緑色に点灯します。

手順3 キーロックがオフになり充電ランプが緑色に点灯します。

玄関着信拒否の設定(室内機(子)のみ)

玄関着信拒否を設定すると、玄関子機からは着信しません。着信音は鳴らず、玄関1または玄関2ランプは点滅しません。玄関着信拒否を設定するには次の手順で設定します。

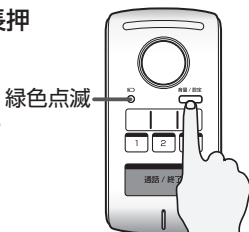
重要

玄関着信拒否は、玄関子機を設置したときのみ設定してください。

1 「音量/設定」ボタンを3秒間長押しします。

確認音が鳴り、機能設定モードになります。

機能設定モードでは、充電ランプが緑色に点滅します。



2 5秒以内に「通話/終了」ボタンを押します。

5秒以内にボタンを押さなかった場合、ピピッと音が鳴り設定状態が解除されて待機状態に戻ります。

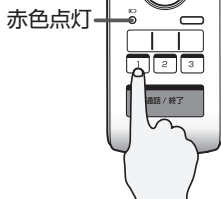
その場合は手順1からやり直してください。

以降の手順も同様に5秒以内にボタンを押さなかった場合、待機状態に戻ります。



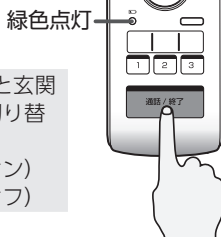
3 室内機ボタン[1]を押します。

充電ランプが赤色で点灯します。



4 「通話/終了」ボタンを押します。

玄関着信拒否がオンになり、充電ランプが緑色で点灯します。



「通話/終了」ボタンを押すと玄関着信拒否のオンとオフを切り替えることができます。

緑色点灯: 玄関着信拒否 (オン)

赤色点灯: 玄関着信拒否 (オフ)

5 「音量/設定」ボタンを押します。

確認音が鳴り、待機状態に戻ります。

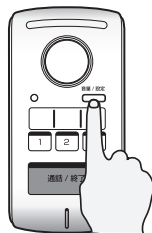


玄関着信拒否を解除する

解除方法は、手順1～5と同じ手順ですが、下記の手順が異なります。

手順3 充電ランプが緑色に点灯します。

手順4 玄関着信拒否がオフになり充電ランプが赤色に点灯します。



緊急呼び出しボタンの設定(室内機(子)のみ)

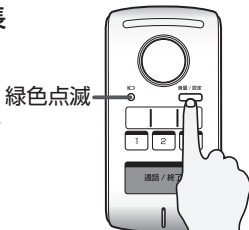
「通話/終了」ボタンを緊急呼び出しボタンに設定します。
「通話/終了」ボタンを押すと、すべての室内機で専用のアラーム音が鳴り、いずれかの室内機が応答するまで鳴り続けます。
「通話/終了」ボタンを緊急呼び出しボタンに設定するには次の手順で設定します。



室内機(子)のみの設定です。室内機(親)では設定できません。

1 「音量/設定」ボタンを3秒間長押しします。

確認音が鳴り、機能設定モードになります。
機能設定モードでは、充電ランプが緑色に点滅します。



2 5秒以内に「通話/終了」ボタンを押します。

5秒以内にボタンを押さなかった場合、ピピッと音が鳴り設定状態が解除されて待機状態に戻ります。
その場合は手順1からやり直してください。
以降の手順も同様に5秒以内にボタンを押さなかった場合、待機状態に戻ります。



3 「音量/設定」ボタン[3]を押します。

充電ランプが赤色で点灯します。



4 「通話/終了」ボタンを押します。

緊急呼び出しボタンがオンになり、
充電ランプが緑色で点灯します。



「通話/終了」ボタンを押すと緊急
呼び出しモードのオンとオフを
切り替えることができます。

緑色点灯:緊急呼び出しボタンの
設定(オン)

赤色点灯:緊急呼び出しボタンの
設定(オフ)

5 「音量/設定」ボタンを押します。

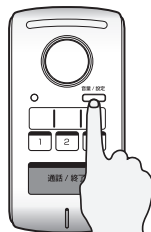
確認音が鳴り、待機状態に戻ります。



緊急呼び出しボタンの設定を解除する
解除方法は、手順1～5と同じ手順
ですが、下記の手順が異なります。

手順3 充電ランプが緑色に点灯
します。

手順4 緊急呼び出しボタンの設
定がオフになり充電ラン
プが赤色に点灯します。



故障と判断する前に

症状	確認内容	対処方法
呼び出したりは通話できない	玄関ランプが赤色点滅していませんか？	室内機(子)を室内機(親)からの電波が届く場所に移動して、再度、「通話/終了」ボタンを押して確認してください。 近くにDECT準拠方式のコードレス電話やPHSがある場合は、干渉となるため、離してお使いください。➡12ページ
	ACアダプターを接続すれば呼び出しや通話ができますか？	電池切れの可能性があります。
	キーロックが設定されていませんか？	「通話/終了」ボタンと「音量/設定」ボタンの長押し以外のボタンが効かなくなっています。設定を解除してください。 ➡51ページ
	玄関着信拒否が設定されていませんか？	玄関子機からの着信を受けなくなっています。設定を解除してください。 ➡53ページ
相手の声が小さい、または雑音がする、音が途切れる	充電ランプが赤色点滅していませんか？	電池残量が少なくなっています。ACアダプターを差し込んで1時間以上充電してください。
充電できない	ACアダプターのプラグが本製品から抜けていませんか？	ACアダプターのプラグを本製品にしっかりと差し込んでください。
	周囲の温度が-10℃以下または40℃以上の環境になっていませんか？	-10℃～+40℃の範囲で充電を行なってください。

症状	確認内容	対処方法
充電してもすぐに電池切れとなる	充電ランプが赤色点滅していませんか？	室内機（親）との通信状態が悪くなり電池の消耗が激しくなっていると考えられます。➡22ページ
	充電電池が消耗していませんか？	充電電池を交換してください。
相手の声が小さいまたはエコーや反響音がる	通話音量の設定が「最小」または「小」になっていませんか？	通話音量の設定を「中」または「大」にしてください。 ➡45ページ
	両方から同時に話しかけていませんか？	相手が話し終えてから、話をしてください。 音の大きい方が優先されます。
	室内機の周囲の音が大きくなりませんか？	周囲の音を小さくしてください。
	本体を振動させていませんか？	振動させないでください。 振動がマイクに伝わりこちらの音が優先されます。
	室内機のスピーカー穴やマイク穴が異物（ホコリや水滴など）でふさがれていませんか？	異物は取り除いてください。 水濡れの場合は、前面を下に向けて、2～3回程度、水滴が飛ばなくなるまで振ってください。
	室内機上部（スピーカー付近）を手で覆っていませんか？	上部から手を離してください。
こちらの声が相手に聞こえにくい	マイクから離れすぎていませんか？	マイクに向かって（30cm以内）話してください。
着信音が小さいまたは聞こえない	着信音量の設定がミュート、「最小」または「小」になっていませんか？	着信音量の設定を「中」、「大」または「最大」にしてください。➡45ページ

メンテナンス

お手入れおよびメンテナンス時のご注意

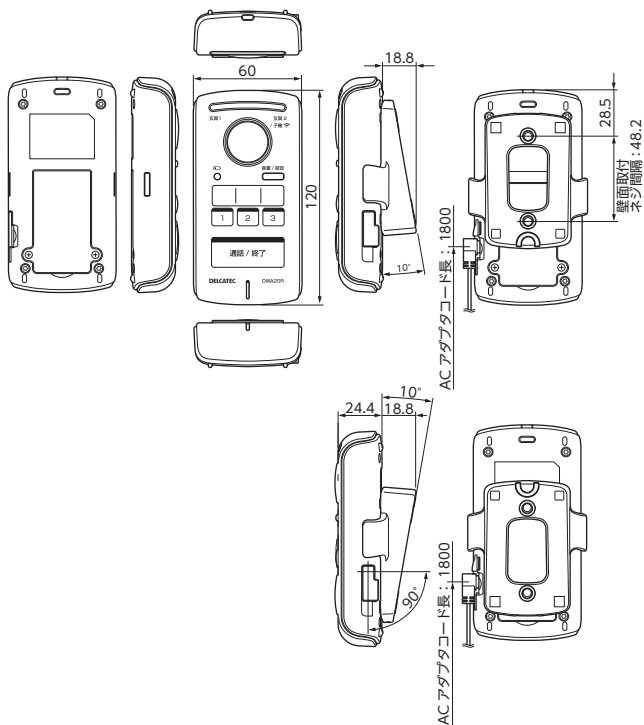
- 本製品や本製品の付属品は、お子様の手が届かない場所に保管してください。
- 本製品を分解しないでください。故障の原因となります。
- 本製品を落としたり、強い衝撃を加えたりしないでください。
- ACアダプターは、必ず付属の専用ACアダプターを使用してください。
- ベンジンやアルコール、シンナーなどは使わず、乾いた布で乾拭きしてください。溶けたり、変形や変色の原因となります。
- 長期間使用しないときは、充電電池パックと電源コードを取り外してください。

仕様

項目	規格
標準規格	ARIB STD-T101準拠
周波数	1,895.616~1,902.528MHz (1.728MHz step)
通信方式	時分割多元接続方式
通信可能距離	約100m(見通し)
電源	・ニッケル水素充電電池 2.4V 500mAh ・専用ACアダプター(充電用) 入力:AC100V(50/60Hz) 出力:DC6V/0.5A
消費電力	0.1W(通話)/0.01W(待機)
充電時間	約10時間
連続通話時間	約5時間
待受時間	約100時間
着信音	3種類
防水性能【保護等級】	IPX4(防沫型)
使用温度範囲	-10 ~ +40℃
外形寸法	(H)120×(W)60×(D)24.4mm
質量	約120g (壁掛けスタンドを除く)

仕様は改良により予告なく変更させていただくことがありますので、ご了承ください。

外形寸法図



※本製品を処分するときは、地方自治体のルールにしたがって処理してください。



FAQを随時更新しています。

Dサポ!と検索ください。

いつでもご確認いただけます。



スマートフォンで
各種設定方法がわかる↑

Dサポ! 1016

検索

保証書

●無料修理規定

※本書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管ください。

1. 本保証書は、お買い上げから下記保証期間内に故障した場合、無料修理規定により、当社が責任をもって無料修理を行なうことをお約束するものです。(消耗部品は除く)
したがって、この保証書によって保証書を発行しているもの(保証責任者)、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
2. 保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明な場合は、お買い求めの販売店、当社営業所またはカスタマーセンターにお問い合せください。なお、商品を直接当社へ送付した場合の送料などはお客さまのご負担とさせていただきます。また、保証期間経過後の修理についても、お買い求めの販売店、当社営業所またはカスタマーセンターにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。
3. 保証期間中、取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、お買い求めの販売店を通じて無料修理いたしますのでお申し付けください。
4. 次のような場合には保証期間内でも有料修理となります。①ご使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障および損傷。②お買い上げ後の取り付け場所の移設、輸送、落下などによる故障および損傷。③火災、地震、噴火、洪水・津波などの水害、落雷、その他の天変地異、戦争・暴動による破壊行為、公害、塩害、ガス害、ねずみや昆虫、鳥など動物の行為による損傷、指定以外の使用電源(電圧、周波数)や異常電圧による故障および損傷。④塗装の色あせなどの経年劣化や、使用に伴う摩擦などにより生じる外観上の現象。⑤用途以外(例えば車両、船舶への搭載など)に使用された場合の故障および損傷。⑥本保証書を提示・添付されていない場合。⑦本保証書にお買い上げ年月日、お客様名、お買い求めの販売店の記入のない場合、または字句を書き換えられた場合。
5. 製品対価以上の保証はいたしません。
6. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。(This Warranty is valid only in Japan.)
7. 期間中の転居、贈答品、その他の理由によりお買い求めの販売店に修理が依頼できない場合には、当社カスタマーセンターまたは当社営業所にご相談ください。
8. お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

型 番		お買上月日		保証 期間	お買上日から	
DWA20R		年 月 日			1 年 間	
お買上 の販売店	ご住所・ご店名		ふりがな			
	電話 () -		様			
お買上 の住所	電話 () -		□□□□□□ 電話 () -			

カスタマーセンター 0570-033-083



DXアンテナ株式会社

6072-4

■ 受付時間 9:30~17:00 (夏季・年末年始休暇は除く)
■ 一部のIP電話で上記番号がご利用になれない場合: 050-3818-9016

※全国一律料金でご利用いただけます。
※携帯電話・PHSからもご利用いただけます。
※ナビダイヤルは各社音声通話定額サービスの対象外となっております。

(1908)

ホームページアドレス

<https://www.dxantenna.co.jp/>